

NEWS RELEASE

2010年4月19日
(財)損害保険事業総合研究所

2010年度 本科通学講座始まる

損保総研の主催する「2010年度本科通学講座」の開講式が4月13日東京神田の損保会館で開催され、引き続き一橋大学大学院商学研究科の米山高生教授による「保険総論」の講義が行われた。2010年度は、損害保険会社、保険代理店、ブローカー等から159名が受講する。

開講式における損保総研専務理事 濱 筆治の挨拶要旨は次のとおり。

今日から来年の3月に亘り、この講座で損害保険の基礎理論を学んでいただきます。

学生時代とは異なり、仕事をしながら講義に出席し、試験を受け、一定の成績をクリアすることは大変なことで、帰宅後や週末に時間を作って自習するためには、「自己管理能力」と「最後までやり遂げる強い意志」が求められます。

とはいえ、勉学に向けての強い意志を持ち続けることは、結構大変なことで、特に「学習する」ことの重要性について十分な認識がない場合には、どうしても安易な方に流されてしまいます。そこで「学習」することの意義について少しお話したいと思います。

私達が日々、汗を流している自由競争市場の本質、市場の法則は、品質、価格などお客様の評価を巡った「知恵の競い合い」とその結果の「淘汰」にあると言えます。従って、会社も個人も淘汰されないよう知力と実力をつけ、業績を上げておかなければなりません。そのためにやっておかなければならないことは、皆さんが継続的に学習し、「個人の実力」をつけていくことです。

要は、「知恵の競い合い」である自由競争市場で生き残り、お客様に喜んでもらうため、そして会社を自己実現の舞台にするためにも、普段から勉強して力をつけておかなければならないということで、こう考えるとこの講座がいかに貴重な機会かがお分かりいただけると思います。

「競争を軸とした市場論」の視点からガラリと変わって、最後は「花咲か爺の人生論」で締めくくります。

先日、福島にある「花見山」に行ってきました。ご存知の方もいると思いますが、この山は個人の所有で周囲の山全体に桜、梅、桃、木蓮、ボケ、レンギョウなど60種類の花木が植えられており、4月に一斉に満開となります。バスで山に近づくと、その美しさに圧倒されます。

毎年、30万人の人にこの山が無料開放されてから今年で51年目になるようです。親子二代に亘るとてもスケールの大きな取り組みで人材育成と共通する点が多いです。

91歳になる所有者の話によると、野草と違い、1年間、花のない時期も日々黙々と手入れが必要で、絶対にごまかしが効かない。そのためにも「綺麗な花を咲かせてみんなに喜んでもらう」という目的をしっかりと持って手抜きせずに入念に手入れすることが大切と教わりました。

皆さんも、この「花咲か爺」にならって自身を立派な花に育てて欲しいと思います。

それには、①どんな花でもよいので「これが自分の花だ」というものを育てること。②目標を

定めたら簡単に散らないで！（桜は受粉するまで、引っ張っても木から離れません）③ごまかさず、日々の手入れ、学習をぬかりなく！④周囲や、お客様に喜んでもらえることを目指して見ごたえのある花を！実践してください。

この本科講座が、皆さんの日常業務を支える基本的知識を提供するよい機会となること、また更に次のステップとなる研究科、特別講座などの学習意欲につながっていくことを願っている次第です。

「本科通学講座」は全13科目で構成されており、「保険総論」の講義を皮切りに2011年3月17日までの約1年の間に講義38回、試験12回が実施される（13講座の内容および指導講師は、下記記載のとおり）。なお、上記13科目のほか、2009年度に引き続き任意受講科目として「法律の基礎知識」（講義2回）を行う。これは主として法学部出身以外の受講者を対象に、「保険契約法」や「保険業法」の講義の学習支援を目的としている。

本科講座は、1953年から継続的に実施されており、損害保険全般の理論と実務についての基本的知識の習得を目的として、体系的なカリキュラムで構成されている。損害保険業務の第一線で活躍されている多くの人が、本科講座で損害保険の基本を身につけ、そのうえに研鑽を重ねて各方面で活躍されている。

なお、「本科通学講座」を受講できない地方在住者等のニーズに応えるため、損保総研では1968年から「本科通信講座」を開講している。

本科講座は、損害保険会社の社員のみならず、保険代理店、ブローカー、他の金融機関・業態で働く人を幅広く受講対象者としている。受講期間1年間の長丁場の講座になるが、上司や職場の奨励・支援も得ながら、受講者全員が全講座を修了することが期待される。

記

【2010年度 本科通学講座科目と指導講師】

科 目	指 導 講 師	
保険総論	一橋大学大学院商学研究科教授	米山 高生
損害保険市場論	福岡大学法科大学院教授	佐野 誠
損害保険とリスクマネジメント	専修大学商学部准教授	杉野 文俊
保険契約法	上智大学法学部教授	甘利 公人
金融の基礎知識	城西大学現代政策学部助手	浅井 義裕
保険業法 コンプライアンス	筑波大学大学院人文社会科学研究所教授 中央大学法科大学院教授 弁護士	出口 正義 野村 修也
再保険論	トア再保険株式会社 営業企画部保有管理チーム主任	高橋 千尋
事故対応実務の基礎	株式会社 損害保険ジャパン サービスセンター企画部能力開発室室長代理 〃 火災新種グループ課長代理	藤沢 靖博 安川 泰祐
海上保険論	早稲田大学商学部教授	大谷 孝一
損害保険会計	東京海上日動火災保険株式会社 経理部・主計グループ課長代理	林 尚幸
火災保険論	損害保険料率算出機構 火災・地震保険部火災第一グループ	船崎多美子

新種保険論	傷害・介護	損害保険料率算出機構 傷害・介護保険部企画グループ 主査	須藤 芳樹
	賠償責任	三井住友海上火災保険株式会社 火災新種保険部責任保険チーム	住田 翔星
自動車保険論		損害保険料率算出機構 業務サービス部統計サービスグループ	關田 善典
法律の基礎知識 (任意受講科目)		福岡大学法科大学院教授	佐野 誠

以上



【開講式で挨拶する濱専務理事】



【「保険総論」の講義風景】

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

財団法人 損害保険事業総合研究所

教育研修部 田中 敬子 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。